



事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
 会長：唐澤敏治 副会長：田中洋 幹事：市川満貞

2017-2018 国際ロータリーのテーマ

ロータリー：変化をもたらす ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

2017-2018 RI会長
 イアン H.S. ライズリー
 オーストラリア
 (ビクトリア州)

第1422回 関邦則ガバナー公式訪問例会 平成29年10月24日(火)

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 伊那中央ロータリー讃歌 平澤理ソングリーダー



■ ゲスト・ビジター紹介

- ・RI第2600地区ガバナー 関邦則 様
- ・上伊那グループガバナー補佐 吉澤博文 様
- ・三島西RC 木村安紀夫 様
- ・三島西RC 宇田川茂 様
- ・三島西RC 伊丹秀之 様
- ・三島西RC 梶山豊 様



■ 会長談話 唐澤敏治会長



本日の例会は、国際ロータリー第2600地区ガバナー 関邦則様、上伊那グループガバナー補佐 吉澤博文様、それに三島西ロータリークラブの木村様・宇田川様・伊丹様・梶山様、4人のビジターの皆様にご出席をいただき大変賑やかな例会になりました。三島西RCの皆様からはお土産まで持参していただき誠にありがとうございました。日頃から取引されている井上会員にニコボックスと合わせ心から感謝申し上げます。

さて、21日(土) 22日(日) 23日(月)の3日間にかけて台風21号が日本全土にわたり暴れまわり、各地に大きな被害が発生してしまいました。被害を受けた皆様の1日も早い復興を祈願致します。

10月22日には突然の解散により衆議院議員選挙が行われました。安倍首相一強の問題が起きている中、小池東京都知事の暴言発言により、選挙前同様、自民・公明・連立政権が圧勝の結果となりました。安倍首相の約束通り謙虚な姿勢で真摯な政権運営に全力を尽くす、少子高齢化対策がアベノミクス最大の課題であると指摘していますが、われわれ庶民から徴収された血税を無駄使いすることなく、日本の将来が明るくなる方向に使っていただきたい。これ以上の増税はもうありえない。

最後に、アベノミクスで力を注いできた日本の大企業が大変な問題を起こしている。今まで地方の中小企業に全て押し付けて来た結果が、突然地下から噴き出る蒸気のごとく出生してきました。品質保証で世界と付き合いをしてきた日本はどうか？一番心配されることはこの事によって地方の下請企業は仕事がなくなってしまう事です。日本の経済は今、株高・円安で動いていますがこれからは

■ ニコニコボックス

- ◆唐澤敏治 第2600地区ガバナー関邦則様、公式訪問ご苦労様でございます。又、上伊那グループガバナー補佐吉澤博文様、たびたびご苦労様でございます。三島西ロータリークラブの皆様、よくお出で下さいました。今日はゆっくりして下さい。
- ◆市川満貞 関ガバナー、吉澤ガバナー補佐、三島西ロータリークラブの皆様、今日はありがとうございます。
- ◆井上修 三島西ロータリークラブから4名のロータリアンの方々をお迎え致しました。当社の得意先の方々です。この例会に出られるついでに私共の会社に寄って頂きました。何れも重鎮の方々です。宜しく願い致します。
- ◆伊藤幸明 秋も終盤、マツタケ不作、私は40本。地バチは豊作、70年人生で最大、60センチ以上有り。
- ◆原誠 セブンイレブンの原です。今年も早いものでクリスマスが近づいております。お忙しい年末は、セブンイレブンの美味しいケーキとオードブルがおすすめです。配達も致しますのでどうぞ宜しくお願い致します。出口で待っています。

■ 幹事報告 市川満貞幹事 幹事報告は別紙をご覧ください。



■ 出席報告 会員数45名 出席免除会員6名 長欠会員2名 本日出席者31名 事前メイク1名 出席率74.42%

■ ビジター紹介 井上修会員より三島西RCの皆様の紹介



当社の得意先である法人の方々、同じくロータリークラブに所属しておられる事が分かり例会に出席して頂きました。各社ともユニークな経営をされており、お一人お一人のお話に大いに学ばせて頂きました。

■ ガバナー紹介

- ・上伊那グループガバナー補佐 吉澤博文様より、関邦則ガバナーのご紹介をいただきました。



■ ガバナー講話 ・RI第2600地区ガバナー 関邦則様



第2600地区2017—2018年度のガバナーを拝命しております長野ロータリークラブの関邦則と申します。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。本日は伊那中央クラブの例会ということで楽しみにして参りましたが、三島西クラブの方々にもお目にかかれてさらにうれしく思います。

過日の地区大会には大勢の方にご参加いただきましてありがとうございました。大きな行事が終わってほっとしています。

公式訪問も終盤になってまいりました。あと少しですので、最後まで頑張りたいと思います。

この後は、スライドを使ってお話したいと思いますが、ページ数が多いので、お手元にプリントしたものを配布していただきました。説明不足のところは後程お読みいただきたいと思います。

スライドのタイトルは、「共に歩む一年」としました。皆様と同じ目線で学び考え悩み活動していきたいという意味を込めています。

プロフィールについて簡単に申し上げます。ロータリーに入会して27年が経ちます。長野クラブから若麻績好美ガバナーが出られたときに地区副幹事として勉強をさせていただきました。仕事は建築の設計をしておりますが、まちづくりのお手伝いなどもさせていただきます。

まず、RI方針について説明を申し上げます。例年RIテーマはアメリカのサンディエゴで開催される国際協議会で公表されます。サンディエゴはロスアンジェルス南にあり、メキシコとの国境に近いリゾート都市です。

国際協議会には、全世界から539名のガバナーエレクトと配偶者が集まります。全員参加の全体会議と日本人だけの分科会が交互に行われます。

第一回の全体会議で、イアン・ライズリーRI会長エレクトからRIテーマが発表されました。続く分科会ではそれを受けての意見交換をRLI方式で行いました。その後も戦略計画のことやR財団のことを約一週間かけて学んでいきました。

今年のRIテーマは、既にご存じのことと思いますが、「Rotary: Making A Difference」というもので、日本語だと「ロータリー：変化をもたらす」となっています。英語と日本語では若干ニュアンスが違うと思いますが、オフィシャルな翻訳ですので、このまま受け止めておいていただきたいと思います。

今年度のイアン・ライズリー会長は、スポーツ選手のように大柄な人で、オーストラリアで公認会計士をしている方です。30歳代でクラブ会長に就き、ご夫人もパストガバナーで、自宅の土地が東京ドームの1.5倍あるということです。

ライズリー会長のスピーチは、戦略計画に沿った内容でしたが、クラブのサポートと強化について強調されていたと感じました。会員増強という言い方ではありませんでしたが、男女会員のバランスという言い方で女性会員の増強、そしてまた若い年代の会員の増強についてお話しされました。スピーチの最後で環境問題についても触れ、一人が一本の植樹をしようという呼びかけをされていました。

人道的奉仕の重点化と増加のところについては、ポリオ撲滅がラストスパートまで来ているが、今年は3500万ドルを目標としており、ビル・ゲイツ財団からの7000万ドルを加えると1億500万ドルになるという説明でした。恒久基金については、2025年までに20億2500万ドルを目標にしたいということでしたが、かなり高い目標だと思います。

次に地区方針について説明させていただきます。挨拶文はクラブ計画書に掲載されていますので、そちらをご覧ください。

今年の地区テーマとして、「UPDATE MY CLUB」を掲げさせていただきました。RIテーマのDifferenceをヒントにしたもので、変わるというニュアンスにとどまらず進化するというニュアンスを感じさせる言葉ではないかと思い、このようなテーマにしました。

ロータリーは創立以来、社会の変化とともに歩んできました。ロータリーの歴史と社会の変化を並べてみましたので、対比してみてください。今年は、R財団ができてから100年、米山記念奨学会ができてから50年という節目の年にあたります。現在のRIは戦略計画、R財団は未来の夢計画を掲げており、それにしがたがった戦略を毎年推進しているということもご理解いただけたと思います。

地区の行動計画について説明させていただきます。5項目をお願いしております。最初が「RI会長賞の達成」です。これは、世界のクラブに向けてRIテーマの実現を促しているものです。日本のクラブにとってなじまないところもありますが、できるところに取り組んでいただきたいと思います。二つ目の「ロータリー活動情報の理解の促進」については、例会の会長テーマや卓話でロータリーの話を取り上げてもらいたいと思っております。卓話では、地区の委員長をお招きして話をしていただくと、地区の活動の内容がよく理解できると思いますので、プログラム担当者はよろしく願いいたします。次の「IT化の推進と情報発信」というところでは、まず入り口としてのMy Rotaryの登録をしていただきたいと思います。クラブセントラルの入力もお願いいたします。四つ目も大事なことになります。「クラブの戦略計画の立案と推進」ということで、数年先のクラブの姿を皆さんでイメージしていただいて、クラブの進むべき道を共有してほしいと思っております。最後は、RI会長が言われている植栽で、「環境問題への対策」に取り組んでいただきたいと思います。

次に、ロータリーを知ろうというところに進みます。どのようにアップデートすればいいのか、という質問があると思いますが、それにはロータリーの知識を高めることが良いのではないかと考えて、こうした構成にしてあります。

私たちがクラブの中でロータリーライフを送っているだけだと、地区やRIのことは少し遠い関係にあると感じてしまいがちです。むしろ対立する関係にあるというふうに、勝手な解釈をしている人たちもおられるようです。RIは私たちの上部組織ということではなくて、私たちを支えているのだということも言われていますが、RIは上から何かを言うてくるというようなイメージを持っている人もいます。そうした距離感やギャップ感は、私たちがもう少しロータリーの知識を身につけることによって解消されると思います。同じロータリーの一員としてぜひ理解を進めてほしいと思います。

国際協議会のお話をしましたが、その中のスピーチの抜粋を紹介します。細かいことについては後で読んでいただきたいと思いますが、ヴォイド元RI会長は、ロータリーの独自性について、ステンハマー元RI会長は強いロータリーについて、語られました。若いチャンさんはロータリアンが今しなければならぬことについて話をされていました。どれもなかなか実のある内容だったと思います。

規定審議会が三年に一回、シカゴで開催されて、ロータリーのルールが変更されていきます。昨年の審議会では柔軟性という言葉で表現されるいくつかの項目が変更されました。私たちも議案を挙げていく権利がありますから、ご意見のある方は地区事務所までお知らせください。

会員増強についても、触れておきたいと思います。日本のロータリアンはこのところ減少傾向でしたが、直近のところでは少し持ち直しています。皆様のご協力の成果が表れたものですが、さらに増やしていきたいと思います。女性会員は確実に増えつつありますが、日本の女性会員比率は約5~6%ということです。

戦略計画の立案についてもお願いしているところですが、クラブの健康チェックなどを利用しながら推進していただくと良いと思っています。戦略計画はクラブの未来にとって必要なものだと思います。

次に、ポール・ハリスとアーチ・クランフ、米山梅吉の紹介をします。ロータリーにとっての重要人物ですが、三人は同じジェネレーションです。そして、それを受ける形で、ロータリーの寄付について話を進めさせていただきます。R財団への寄付と言っていますが、実は三つの受け皿があります。自分はどこへ寄付をしたいのか、ということについてしっかりと気持ちを持っていただきたいと思います。金額に応じて認証が与えられますが、寄付ゼロクラブ、寄付ゼロ会員をなくしていきたいと思っています。寄付はロータリアンにとって、決して「とられる」ものではなく、ロータリアンとして世界で役だてられるものに自分も参加しているのだという尊い意識をもっていただくことが大切だと思っています。R財団ではメジャードナーを増やしたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。また、シェアシステムができてからは、寄付が地区補助金という形で戻ってくるという仕組みになっていますので、寄付というより貯金のような感覚でいていただいても良いのではないかとされています。

R財団や米山奨学会への寄付が適正に処理されているのかわからないという意見もあろうかと思いますが、それについては、ホームページを見ていただくと財務データがアップされていますので、ご覧になっていただきたいと思います。

次にロータリーのクレジットカードのご紹介をしておきます。ここに示しますのは、ダイナースカードですが、オリコカードもあります。クラブで持つことができるものと個人で持つことができるものがあります。カードを使っていただくとその金額に応じてポリオプラスに寄付されていくということになっています。例会の支払いなどに使っていただくことをお勧めしています。振込手数料はかかりませんし、更新手続きも無料です。

米山奨学制度について、様々な意見を聞くことができますが、ぜひとも正しい理解をしていただくようお願いしたいと思います。

少しだけですが、ホームページのお話もしておきます。会員用というタブの下を見ていただくとMy Rotaryというのと、クラブセントラルというのがあることがお分かりになると思います。ぜひここをクリックしてみてください。他にもたくさんの項目があって、ロータリーについて勉強したくなったら、ここを見ていただくと良いと思います。

リーダーシップのことは、後でお読みください。皆様の企業でもお役にたつことかと思えます。も

ちろんロータリーにおいても有益な内容です。

地区大会のあいさつでお話したことについて説明しておきます。楽しいロータリーという言い方はよく聞かれます。しかし楽しいというレベルだけでよいのでしょうか。ここまで申し上げましたように、ロータリーのことを学ぶことによって、「おもしろいロータリー」が見えてきます。仕事を覚えると、仕事がおもしろくて仕方がないという言い方をしますが、そういった感覚のことを申し上げています。ロータリーの魅力とは何でしょう。魅力あるロータリーにしていきたいと思います。ロータリーで感動体験を身につければ他人に語りたくなります。これをロータリーモーメントと言います。感動体験を語ることによって会員の入会にも結びつく可能性が高まります。

最後はお知らせコーナーですが、ロータリーのイメージ向上に向けたポスターがありますので、会社などでご活用ください。

今年の国際大会はR財団100周年ということもあって、100年前と同じアトランタで開催されました。来年はカナダのトロントで開催されますので、ご参加いただきたいと思います。もうすでに登録ができるようになっていきますので、早めにお問い合わせいたします。

今年のガバナー事務所のスタッフ一同をご紹介して終わりにしたいと思います。かたい内容でしたが、お聞きくださいましてありがとうございました。



■ 点 鐘

13:30

次回例会

10月31日(火) 点鐘 12:30 場所 海老屋料理店

・クラブフォーラム「米山記念奨学会委員会」

・例会終了後:クラブ協議会(地区大会後)・理事会

第1421回例会

国際ロータリー第2600地区 2017～2018年度地区大会

平成29年10月14日(土)～15日(日)

於：ホテル国際21

※詳細は報告書をご覧ください。

